

【2022年3月期第2四半期の実績について】																																																																																																																																																																																																																		
Q1	第2四半期の業績について、事業環境なども踏まえてセグメント別に教えてください。																																																																																																																																																																																																																	
A1	<p>営業活動利益は前年同期比43億円（42.8%）増加の143億円、当期利益(親会社所有者帰属)は14億円（24.0%）増加の73億円となりました。概ねコロナ前の水準を回復した形です。</p> <p>営業活動利益の主な増減要因は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ICTソリューション事業は、企業のIT投資が堅調な中、インフラ構築ビジネスの展開に加えソリューションビジネスおよびリモートワーク環境の整備に注力し、ネットワークセキュリティ関連のほか、ストレージ関連の案件が好調に推移し、増益となりました。 ● 畜産事業は、緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の影響により外食産業向けの需要は低迷していたものの、前期の在庫解消や畜産物価格の上昇等により増益となりました。 ● 鋼管事業は、エネルギー需要が大きく減退した前期から、欧米経済の回復により北米での鋼管需要も回復しつつあり、増益となりました。 ● 航空宇宙事業は、官公庁向け契約の端境期にあることや航空機部品取引が低調に推移していることから、減益となりました。 <p>これらの結果を受け、営業活動に係る利益の事業別通期見通しを修正しております。</p> <p>セグメント別 営業活動に係る利益/当期利益（親会社所有者帰属）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">(単位：億円)</th> <th colspan="3">営業活動に係る利益</th> <th colspan="3">当期利益（親会社帰属）</th> <th colspan="3">(参考)22/3月期見直し</th> </tr> <tr> <th>21/3月期 2Q実績</th> <th>22/3月期 2Q実績</th> <th>増減</th> <th>21/3月期 2Q実績</th> <th>22/3月期 2Q実績</th> <th>増減</th> <th>営業活動に係る利益 (期初)</th> <th>営業活動に係る利益 (修正)</th> <th>当期利益 (親会社帰属)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICTソリューション</td> <td>51</td> <td>61</td> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>115</td> <td>123</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モバイル</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>65</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子・デバイス</td> <td>75</td> <td>87</td> <td>12</td> <td>35</td> <td>30</td> <td>▲5</td> <td>192</td> <td>192</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>食品</td> <td>▲2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>畜産</td> <td>▲7</td> <td>12</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食糧</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>25</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食料</td> <td>3</td> <td>28</td> <td>25</td> <td>8</td> <td>19</td> <td>11</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>工作機械・産業機械</td> <td>▲1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>14</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>▲2</td> <td>6</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エネルギー・化学品 他</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>▲5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>17</td> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼・素材・プラント</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>航空宇宙</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>▲8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>車両・車載部品</td> <td>▲0</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>▲0</td> <td>▲1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>車両・航空</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>▲4</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>▲4</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他、消去</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>▲2</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100</td> <td>142</td> <td>43</td> <td>59</td> <td>73</td> <td>14</td> <td>280</td> <td>280</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	(単位：億円)	営業活動に係る利益			当期利益（親会社帰属）			(参考)22/3月期見直し			21/3月期 2Q実績	22/3月期 2Q実績	増減	21/3月期 2Q実績	22/3月期 2Q実績	増減	営業活動に係る利益 (期初)	営業活動に係る利益 (修正)	当期利益 (親会社帰属)	ICTソリューション	51	61	9				115	123		モバイル	20	23	3				65	57		その他	3	4	1				12	12		電子・デバイス	75	87	12	35	30	▲5	192	192	90	食品	▲2	1	3				2	2		畜産	▲7	12	20				8	15		食糧	13	14	1				25	18		その他	0	0	0				0	0		食料	3	28	25	8	19	11	35	35	23	工作機械・産業機械	▲1	3	4				14	10		海外	▲2	6	8				0	7		エネルギー・化学品 他	8	3	▲5				17	14		鉄鋼・素材・プラント	5	13	8	9	14	6	31	31	25	航空宇宙	13	5	▲8				4	6		車両・車載部品	▲0	5	5				10	8		その他	1	▲0	▲1				0	0		車両・航空	13	10	▲4	9	6	▲4	14	14	9	その他、消去	4	5	1	▲2	4	6	8	8	3	合計	100	142	43	59	73	14	280	280	150
(単位：億円)	営業活動に係る利益			当期利益（親会社帰属）			(参考)22/3月期見直し																																																																																																																																																																																																											
	21/3月期 2Q実績	22/3月期 2Q実績	増減	21/3月期 2Q実績	22/3月期 2Q実績	増減	営業活動に係る利益 (期初)	営業活動に係る利益 (修正)	当期利益 (親会社帰属)																																																																																																																																																																																																									
ICTソリューション	51	61	9				115	123																																																																																																																																																																																																										
モバイル	20	23	3				65	57																																																																																																																																																																																																										
その他	3	4	1				12	12																																																																																																																																																																																																										
電子・デバイス	75	87	12	35	30	▲5	192	192	90																																																																																																																																																																																																									
食品	▲2	1	3				2	2																																																																																																																																																																																																										
畜産	▲7	12	20				8	15																																																																																																																																																																																																										
食糧	13	14	1				25	18																																																																																																																																																																																																										
その他	0	0	0				0	0																																																																																																																																																																																																										
食料	3	28	25	8	19	11	35	35	23																																																																																																																																																																																																									
工作機械・産業機械	▲1	3	4				14	10																																																																																																																																																																																																										
海外	▲2	6	8				0	7																																																																																																																																																																																																										
エネルギー・化学品 他	8	3	▲5				17	14																																																																																																																																																																																																										
鉄鋼・素材・プラント	5	13	8	9	14	6	31	31	25																																																																																																																																																																																																									
航空宇宙	13	5	▲8				4	6																																																																																																																																																																																																										
車両・車載部品	▲0	5	5				10	8																																																																																																																																																																																																										
その他	1	▲0	▲1				0	0																																																																																																																																																																																																										
車両・航空	13	10	▲4	9	6	▲4	14	14	9																																																																																																																																																																																																									
その他、消去	4	5	1	▲2	4	6	8	8	3																																																																																																																																																																																																									
合計	100	142	43	59	73	14	280	280	150																																																																																																																																																																																																									

Q2	「その他の金融費用」▲15.8億円は何か、ご説明をお願いします。
A2	持分法投資先への優先株式を全額評価減したことによる損失が大宗となります。
	【2022年3月期見通しについて】
Q3	第2四半期の進捗率は、2分の1の50%に対し、営業活動利益で50.9%、当期利益(親会社所有者帰属)で48.6%となっていますが、今後の見通しについてどのように考えていますか。
A3	<p>優先株式の評価減などはありましたが、進捗率はほぼ50%で順調に推移しており、概ね見通し通りの進捗にあります。</p> <p>ICTソリューション事業はセキュリティやネットワーク増強など案件は積み上がっており、4Qでの利益計上が期待されます。また、エネルギー事業は、冬場の灯油需要への期待があります。一方で、工作機械・産業機械事業においては、半導体不足やサプライチェーンの混乱、海外移動制限などにより納期が遅れるなどの影響があり、また、モバイル事業の戻りにも若干の弱さが見られるなどの懸念もあります。冬場にかけて新型コロナウイルスの第6波も懸念されるなど、引き続き国内市場には不透明さは残るため、現時点では、期初に公表した通期見通しは変更しておりません。環境変化を注視しながら慎重に対応して参ります。</p>
Q4	モバイル事業については、前年同期比微増です。すでに販売台数は回復傾向と考えられますが、何か理由があるのでしょうか。また、オンライン専用プランの影響なども含め、今後の見通しについては、どのように考えていますか。
A4	<p>販売台数は、昨年対比では120%超と回復していますが、新型コロナウイルス拡大前の一昨年対比では9割程度に留まっています。都市部を中心に一昨年対比で来店客数が半減している店舗があるなど来客客数の戻りが弱いことに加えて、新型コロナウイルス対策としての通信キャリアからの支援金が減少したことなどにより、収益が伸び悩んでいます。</p> <p>供給網の混乱から、iPhone13の「Pro」など新機種売れ筋や、法人需要の高い「SE」などの品不足も影響しています。</p> <p>都市部ではオンライン専用プランの普及もある程度は進んでいると考えられ、来店客数の減少傾向は続くと思われるため、減少幅の大きな店舗は店舗規模の適正化(店舗移転・スタッフ数見直し)を重点課題として着手しているところです。</p> <p>一方、キャリアショップ店頭を活用した新規ビジネスも予定どおり受付を開始いたしました。キャリア手数料に依存しない新たな収益源として取組みを強化して参ります。</p>
Q5	北米の鋼管事業については、今期は収支均衡を目指していましたが、既に2Qで6億円の営業活動利益が出ています。通期に向けてもこの回復傾向は期待できるでしょうか。
A5	<p>原油の供給不足懸念や、コロナ禍からの景気回復が本格化している米国で燃料需要が拡大していることなどから、原油価格が上昇しリグカウントは前期から回復基調にあります。鋼管販売事業は黒字化が定着しつつあり、回復傾向にあることは確かですが、リグカウントの水準自体は、依然500基台に留まり、しばらくは回復はスローに留まるものと想定しています。</p>

【投資について】	
Q6	投資の進捗状況、および今期中の見通しについて教えてください。
A6	<p>複数の案件が進行していますが、上期においては以下のような投資を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● IC テストハンドラー事業の譲受。 ● ヘキサフリー大豆加工メーカーへの出資。 ● 兼松コミュニケーションズ株式会社による携帯電話販売代理店である株式会社 エヌ・エス・シーの全株式取得。 ● 兼松エレクトロニクス株式会社による、アプリケーション開発や IT コンサルティングを提供するキーウェアソリューションズ株式会社との資本業務提携。 ● 韓国鋼板加工メーカーの持分法投資先への追加出資。 ● 兼松アドバンスド・マテリアルズ株式会社による電子材料取扱商社である寒川商事株式会社の全株式取得。 ● 貿易プラットフォームを産業界へ普及させるための戦略的投資会社 TW Link の設立。 <p>上記のほか、現在、パイプラインに複数の投資案件があり、そのうちのいくつかは今期中のクロージングを目指しております。</p>
【株主還元について】	
Q7	2022年3月期の配当性向の見通しは33.4%と、総配当性向の目標30~35%のレンジ内ですが、今後、目標を引き上げることは考えられますか。
A7	2022年3月期の年間配当予想は、1株当たり60円で配当性向は33.4%ですが、今後も、投資と株主還元のバランスを取りつつ、継続的かつ安定的な配当を実施するという方針に変わりはなく、事業投資の積上げなどによる当期利益伸長により、年間配当額を増大させていく考えです。
【脱炭素社会の実現について】	
Q8	脱炭素社会の実現に向けた兼松の取組みや考え方などを教えてください。
A8	<p>当社では、今年6月にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に賛同を表明しました。</p> <p>環境問題は企業にとっての責務と認識しています。当社グループでは資源ビジネスや石炭火力発電など環境負荷の高い事業を行っておらず、GHG 排出量はあまり多くはありませんが、今後は、当社グループのGHG 排出量を算出し、ネットゼロまでの具体的な計画も策定していく考えです。カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すため、排出権取引なども活用して、早期のネットゼロを実現したいと考えております。</p>

【DX 推進について】	
Q9	Future135 では「グループをあげた DX 推進」を掲げていますが、その進捗を教えてください。
A9	<p>当社グループは、今年 7 月に DX 推進委員会を設置し、兼松と兼松エレクトロニクスの執行役員を委員とし、ビジネス毎の DX 検討、グループ共通 IT 環境の整備等を推進中です。経営会議のペーパーレス化などを実施しましたが、現場改善にとどまらず経営自ら改革を進めて参ります。</p> <p>【DX 推進の実例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全ての社内決裁を電子化した「HI-MAWARI」の開発。 ● 経費精算のアウトソーシングである「Concur」の導入。 ● 事業共創のためのプラットフォーム「Business Co-Creation Center」の立上げ。 ● AI 技術を活用した画像検査サービス「AIPENET」の販売開始。

以 上